

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年6月4日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870200896		
法人名	株式会社 クリエイト		
事業所名	グループホーム 久慈浜	ユニット名	1F
所在地	〒319-1222 茨城県日立市久慈町3-4-14		
自己評価作成日	平成23年9月22日	評価結果 市町村受理日	平成24年6月1日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0870200896&SCD=320&PCD=08
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成23年11月18日	評価確定日	平成24年5月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

庭に、菜園や簡単なパターゴルフをするスペースがあり、天気の良い日は外に出て過ごすことができる
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>職員は利用者一人ひとりの生活歴を把握するとともに、利用者の経験や能力を活かせるように支援をしている。</p> <p>利用者が自由にプレーできるパターゴルフ場を設けているほか、利用者は自家菜園で専用器具を使用して野菜を栽培しており、収穫した野菜は日頃の食卓に並んでいる。</p> <p>写真撮影や書道、絵画、楽器演奏など、利用者の趣味を活かして表現できる機会を設けており、利用者にとって喜びや活力となっている。</p> <p>利用者の身体機能回復に役立つよう、日常生活の中にエアロバイクや音楽療法を取り入れている。</p> <p>運営推進会議時に消防署の救命専門員による救命処置や心肺蘇生、AED使用方法の講義を行うなど、地域に役立つ活動をしている。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念3項目を作り、毎朝申し送り時、全員で唱和し、実践している	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念をつくり事務室や食堂に掲示するとともに、職員は毎朝の申し送り時に理念の共有を図り、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣の神社清掃や地域の祭りに参加。小学校の運動会の見学、小学生が訪問してくれるなど交流している。近隣の飲食店や商店を利用している。地域の祭りで神輿が立ち寄ってくれたり、地域のスポーツフェスティバルに数人が参加した。散歩中など日常的に近隣の住民と挨拶や会話を交わしている。	利用者は散歩時に近隣住民と挨拶を交わしたり、飲食店や商店を利用しているほか、隣接する神社への参拝や神社の清掃、地域の祭りへの参加を通して地域の人々と交流をしている。 小学校の授業の一環である児童の訪問や中学生の職場体験を受け入れているほか、利用者は小学校の運動会を見学している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	防災訓練時、近隣住民にも声をかけ、いっしょに消火器の取扱い方法を消防署員から学んだり、事業所内で行なう応急手当救命講習に参加していただき、共に学ぶ機会を持っている。実習生を受け入れている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回開催。議事録を作成し、職員全員に周知し、必要に応じ会議等で話し合っている	運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、市職員2名が参加している。 会議では利用者の状況や行事の開催結果を報告し、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。 会議時に職員や委員は、消防署の救命専門員を講師とした救命処置や心肺蘇生、AED使用方法の実技、ビデオによる講義を受講している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の事業所懇談会や連絡会に参加し、意見交換をしている。運営推進会議にも出席してもらっている。 市の担当課と情報交換や相談などを行ない、協力を得ている	施設長や管理者は市担当者に電話や訪問をし、利用者やサービスの実態を報告しているほか、市の事業者懇談会や連絡会に参加して意見交換を行い、協力関係を築くように取り組んでいる。 東日本大震災の避難時は市の介護保険課との連携により、自衛隊による支援物資が配付され、避難生活時に役立っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に研修を行っており、身体拘束をしないケアの理解に努めている 玄関の施錠に関しては、利用者の離設があり運営推進会議等で話し合ったり、ご家族の了承のもと施錠している。利用者が外出したい時はいつでも開錠している	身体拘束廃止に向けたポスターや事業所独自に「身体拘束排除宣言」の文書を作成し、事務室に掲示して身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 一人で外出してしまう利用者の安全に配慮して玄関を施錠しているが、書面で家族等の同意を得るとともに、利用者が外出したい時は解錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内外の研修参加と報告を行なっている職員は自ら自覚を持って防止に努めている 普段の生活で身体だけでなく言葉の暴力（虐待）が見過ごされていないかを配っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度について、研修などで勉強する機会を持っている 成年後見制度の手続きの支援を行なった		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、理解が得られるよう、十分な話し合いを行ない、契約書や同意書を取り交わしている	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、面会、家族会等で家族の意見要望をお聞きし、反映している 利用者は、介護相談員の訪問時に話を聞いてもらっている。玄関に意見箱を設置している	利用者からは日々の生活の中から、家族等からは運営推進会議や面会、家族会開催の機会に意見や要望を聴くように努めている。 月1回介護相談員を受け入れて利用者の話を聴く機会を設けており、出た意見等を運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回の職員会議や毎日の朝礼、週間報告書等で提案する機会を設け、反映させている	管理者は月1回の職員会議や毎日の朝礼時に職員の意見や提案を聞いているほか、職員は一週間の勤務に関する気付きや改善点を週間報告書で提出することとしており、出た意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	面接や、週間報告書等で把握し、意見を聞き整備に努めている 各自に、自分の長期目標・短期目標を設定してもらい実践できるよう支援している	/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勉強会、研修の案内を職員に提示し、希望する研修に参加できるよう調整している 研修へ行った職員は研修内容を他職員にも情報提供している 応急手当救命講習は全員が受講している また、新人には担当者が付き日常業務の中で技術指導・相談ができるようにしている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他のグループホームと運営推進会議の委員として行き来したり、お花見、花火大会、応急手当講習等で交流している		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に施設を見学していただき、要望をよく聞いている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に施設を見学していただき、要望をよく聞いている。信頼関係が築けるよう努め、家族の希望も介護計画に反映している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	しっかりアセスメントし、必要な支援ができるよう対応している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除、調理、洗濯などできるだけ利用者と職員が共同で行っている。知識や経験を活かし得意なことを行なっていたり、教えてもらうなどお互いに支え合いながら暮らしている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話等で話を聞き、情報を共有している 好きな時に面会、外出等できるように支援し遠方の家族は居室に宿泊できるようにしている イベント、行事があるときはお知らせし自由に参加できるようにしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間を設けず、いつでも面会できるようにし、居室等でゆっくり過ごせるよう支援している。家族と一緒に外出したり、墓参りや法事に出かけている	職員は利用者が馴染みの人と手紙のやり取りをしたり、携帯電話で家族等と連絡を取り合えるように支援している。 利用者は家族等と一緒に外出したり、墓参りや法事、馴染みの理・美容院へ出かけており、職員は利用者がこれまで大切にしてきた人や場所との関係継続の支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	テーブルの席を調整したり、家事、レクリエーションや趣味活動を通して、一緒に楽しむことができるよう支援している。1階、2階を自由に行き来でき、合同で行事を行なうなど交流している。イベントでは普段見られない特技などを披露していただいている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	時々電話や訪問してくださる家族もあり、思い出話などしている。相談があれば対応できるようにしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	受け持ちを中心に本人の希望を聞き把握している 困難な場合は職員間で話し合い、会話が可能だった頃の言動をヒントに本人本位に検討している	職員は日々の係わりの中で、利用者が言葉で表現できない思いを行動や表情から汲み取り把握している。 意向の把握が困難な利用者の場合は職員で話し合い、利用者本位に検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式によるアセスメント表、本人・家族等から今までの生活環境を見聞きし、記録してサービスにつなげている			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護計画に沿って記入する介護記録と、バイタルサイン、食事量、排泄、睡眠等の記録により把握に努めている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の希望を聞き、受け持ち、計画作成担当者等関係者で話し合い介護計画を作成している。カンファレンスで意見を聞き反映することもある。6ヶ月に一度、モニタリングを行なっている。	介護計画は利用者や家族等、関係者で利用者本位に話し合い、気付きや意見、要望を反映させて作成している。 利用者の希望を取り入れ、介護計画にエアロバイクや音楽療法のリハビリテーションを組み入れている。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、現状に即した介護計画に見直している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個人記録を記入し、申し送りや連絡帳で情報共有しながら実践している。必要に応じ、カンファレンスを行ない、計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族に代わって病院の付き添いや買い物に出かける。庭に、パターゴルフができるようホールがある。雨の日でも、運動ができるようエアロバイクが置いてある。施設内にジュースの自動販売機を設置し自由に購入できる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の消防署、警察署に協力してもらっている。通院時、介護タクシーを利用している。音楽療法士、美容師、歯科医師等が訪問してくれる		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望でかかりつけを決定している。定期的な通院のほか、病状に応じ、かかりつけの医師へ相談し適切な医療が受けられるよう支援している 協力病院の医師によるインフルエンザの予防接種を施設内で全員受けている	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診は職員が付き添うとともに、受診結果を記録に残している。 協力医療機関の医師や歯科医による訪問診療を定期的に受けられるように支援をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	気になる症状や、処置内容を相談、決定する看護職員がおり、支援している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、定期的に面会に行き、利用者の心身の状態を把握できるようにしている。病院の医師、看護師と、密に連絡を取り情報交換している。	/	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	「重度化した場合の対応にかかる指針」「看取りに関する指針」を作成し、家族より同意をいただいている。終末期の状態、過ごし方は個々により様々であるので、その都度十分話し合いながら進めていくことを家族と理解しあっている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎年、施設内で応急手当救命講習を開催し、全員が交代で受講している。対応マニュアルを理解し、対応できるよう備えている。事故発生に備えてAEDを設置している。	/	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、総合消防訓練を実施し、地域の住民にも参加の案内をし協力をお願いをしている 毎月の自主防災訓練と定期的な研修を実施している。3月の大震災、大津波警報発令時には訓練通り避難することができた		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩という意識を持ち言葉遣いに注意し接している。プライバシーに配慮した言葉かけや、対応をしている。個人記録へは他利用者の名前をイニシャルで記載している	職員は利用者のその人らしい尊厳ある姿を大切にし、プライバシーを損なわないように対応している。 利用者の個人情報に関する書類は事務室の所定の場所に保管し、他者に見えないよう配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人にわかりやすい言葉、説明を行い自己決定してもらったり納得できるよう支援している			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の利用者にあった言葉かけや日中の過ごし方を把握しており、自由に過ごせるよう支援している。何か行なうときは言葉をかけ本人のペースや希望を尊重している			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴準備の際、利用者と一緒に好きな服を選んでいる。入れ歯のつけ忘れ、服装の乱れはさりげなく言葉かけし整えている。理容は希望を聞いて実施、それぞれ好きな髪形にしている			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日に希望食を取り入れたり、外食をしたり、出前をとることもある。手作りうどんを皆で作ったり、調理、食事、片付けも職員と一緒にこなしている。収穫した菜園の野菜を食事に添えることもある。	職員と利用者が一緒にテーブルを囲み、会話をしながら食事をしている。 食事が楽しめるよう旬の食材や利用者が栽培した自家菜園の野菜を活用したり、誕生日の希望食や出前を取り入れている。 利用者は個々の力を活かしながら、後片付けを職員と一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー計算した献立になっている。水分量を毎日チェックしている。毎月、体重測定を行ない、食事量を調整している。食事量が少ないときはおやつ時に補食を提供するなど対応している。好き嫌いを把握し食べられないものは代替品を提供している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、できる方には歯みがきを、また口腔ケアを介助にて実施している 口腔内の状態も随時確認している 週1回、歯科医師、衛生士による歯科検診、口腔ケアが行なわれている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンがわかるよう記録をし、介助が必要な利用者の排泄のサインを見逃さず、トイレ誘導している 日中はできるだけ下着で対応できるようにしたり、オムツから下着に変更できないかカンファレンス等で随時検討している	職員は利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、利用者の排泄サインを察知してトイレに誘導し、トイレで排泄ができるように支援をしている。 職員は利用者一人ひとりの状態を見極めておむつの使用を減らしたり、できるだけトイレで排泄ができるように支援をしているほか、夜間のみポータブルトイレやおむつを使用するなど、排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘傾向のある方には、乳製品を摂取していただくなど個々に合わせた対応をしている。 体操、散歩など体を動かすよう支援している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	隔日の入浴と、ある程度の時間帯は決めてあるが、入浴時間、順番、湯温調整など、できるだけ希望に沿って支援している	一日おきの入浴を基本としているが、利用者一人ひとりの習慣や好みを聴き、希望にそって毎日でも入浴ができるように支援をしている。 マッサージ効果のあるジャグジーを取り入れたり、午前中に足浴を行っているほか、入浴剤を使用するなど入浴が楽しめるように工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠時間について記録をしており、状況に合わせて昼寝の支援をしている 消灯時間を決めていない 今までの生活習慣を把握し、自宅で使っていたベッドや畳に布団を敷いて休んでいただいている 寝具類を清潔にしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルと薬袋で内服薬の内容が確認できるようになっており、用法・用量について理解している。チェック表を用い、飲み忘れや間違いがないよう確認している。 服薬時、後の変化について確認し、異常があるときは報告、対応している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理、洗濯たたみ、洗濯干し、掃除などの役割がある 畑仕事、散歩、レクリエーション、神社参拝など一人一人に合わせて支援している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩、日光浴、神社参拝を日常的に行ない、季節に合わせて花見、花火、家族会、外食などの外出をしている 家族との外出も支援している	利用者は庭やサンルームで外気浴をしたり神社に参拝するほか、近くの公園に出かけている。 職員は利用者の希望を取り入れて年間行事計画を立案し、花見や花火見物、外食、近隣のホテルで行なう家族会への参加など外出の機会を設け、気分転換が図れるように支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族と相談して管理のできる利用者には少額のお金を持っていただいている ジュースを自動販売機で買ったり、神社でお賽銭をあげたりできるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	全員が家族等に年賀状を出せるよう支援している。家族や知人から手紙や絵葉書が届く。家族面会時に家族の携帯電話で兄弟等と話をしている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂や洗面所には季節の花を飾る。食堂内に季節に合わせた手作りカレンダーや日めくりカレンダー、利用者の作品、イベントの写真等を貼っている。冬は和室に炬燵を用意し、トイレにヒーターをつける。	共用空間は適温に保たれ、食堂からは利用者のパターゴルフ場や自家菜園、隣接する神社の様子が眺められ、季節の移り変わりが感じられる。 食堂はBGMが流れ、行事の写真や利用者の習字の作品が飾られているほか、食堂の一角の和室には庭の花を飾っている。 トイレに温風ヒーターを設置するなど、利用者が居心地よく過ごせるよう工夫をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂、和室、サンルーム、玄関の椅子などそれぞれ好きな空間で過ごすことができ、利用者同士や職員と会話をしたり、将棋等をしている。本人の作品を飾っている			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は家具や寝具など本人の使っていたものや思い出の品を置いていただいている。過ごしやすいように配置も本人と家族にまかせている	利用者は居室に簡易畳を敷いたり好みのカーテンを掛けているほか、炬燵や使い慣れた家具、ベッド、寝具を持ち込んだり趣味の品や作品を飾り、安らぎながら居心地よく暮らせるよう工夫をしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	浴室に「ゆ」ののれんをかけている。トイレのドアの色を変えて場所がわかるようにしているが、必要に応じ、「トイレ」と表示している。 居室の扉には花の絵がそれぞれ付いており自分の居室を確認している。 廊下の手すりの使用で自立した生活ができるようにしている			

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input checked="" type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム久慈浜

作成日 平成24年5月31日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間に大災害が起きた時、少人数の職員での対応に不安がある	夜間に大災害が起きても職員が冷静な判断で利用者の安全の確保ができる	<ul style="list-style-type: none">定期的な訓練の実施近隣住民との連携の強化消防の指導を受ける	平成24年3月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。